

法律論叢第 67 卷 2・3 合併号 (鍋田一教授退休記念論文集)

1995 年 2 月 25 日刊行

掲 載 内 容 【論説】	(頁数)
第一部 公 法 学	
ジョージア州におけるヘイビアス・コーパスの発展 ——アメリカ憲法史の一側面のスケッチ的概観——	大 谷 正 義 (3)
受刑者の人権と残虐で異常な刑罰 ——アメリカ行刑の判例を中心として——	菊 田 幸 一 (23)
税務調査手続における適正手続の保障の動向 ——所得調査を中心に——	下 川 環 (57)
行政手続法の制定と今後のわが国の行政法学	田中館 照 橘 (83)
カナダ政党国庫補助の憲法実態	野 上 修 市 (109)
法理論における最強のレトリックとしての勿論解釈 ——メタ理論的アプローチ——	増 田 豊 (143)
約束による自白 ——自白排除の根拠——	山 田 道 郎 (175)
第二部 私 法 学	
従業員持株制度の商法上の問題点	三 枝 一 雄 (207)
保険損害と損害防止義務	坂 口 光 男 (225)
司法救済論に関する基礎的考察	納 谷 廣 美 (249)
契約責任の要件としての契約の存在 ——フランス法における 契約責任と不法行為責任の接点 (その一) ——	平 野 裕 之 (275)
中間省略登記請求権について	山 本 進 一 (301)
第三部 基 礎 法 学	
物語としての共同体 ——共同体論研究序説——	石 前 禎 幸 (329)
贈与と賄賂 ——イスラーム社会における習俗と法——	加 藤 哲 実 (359)
江戸小伝馬町牢屋敷の世界——明治大学刑事博物館蔵 『牢内深秘録』『徳川幕府刑事図譜』に見る牢法——	伊 能 秀 明 (383)
明代の律編纂考——洪武年律編纂の二・三の史料の再検討から——	佐 藤 邦 憲 (427)
新たに披見し得たハーバート大学蔵・乾隆鈔本「蒙古律」について	島 田 正 郎 (449)
近世ドイツ国制史研究における社会的規律化	千 葉 徳 夫 (479)
明治六年大政官第二一号布告と私生子認知請求	村 上 一 博 (509)
射礼について	楊 永 良 (543)
鍋田 一教授略歴及び著作目録	(555)
鍋田先生のこと	岡 野 誠 (563)
※論文は、第一、二、三部に大別し、著者の五十音順に配列	